

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学 校 名	埼 玉 県 立 川 口 特 別 支 援 学 校	Cグループ
項 目	調 査 の 観 点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の置かれた状況や児童生徒の実態を考慮した上で、「一人一人を大切に作る学校」をキーワードに、今年度見直しが図られている。学校に寄せられる期待に十分に答え、学校の特色や強みを生かしたものにできると更に良い。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。目指す学校像を踏まえ、児童生徒一人一人のニーズに応じた授業づくりなど、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・委員会等が連携し、学校自己評価システムが運営されている。評価項目が、年度達成目標としては重点化が不十分なので、明確かつ重点化された目標となるよう工夫していただきたい。学校全体の目標を踏まえ、分掌・学年等で検討される方策等を学校全体のシートへフィードバックして相互の連携を図るなど、学校自己評価の運営体制について工夫ができると更に良い。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	企画委員会で課題を分析し、その要因を見いだそうとしている。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、取組指標と成果指標をうまく組み合わせて分かりやすいものを設定することが望まれる。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	評価運営委員会・企画委員会、職員会議において、校長が学校の課題等に関する教職員の共通理解を図っている。校長的的確なリーダーシップの下、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集を行い、丁寧なフィードバックがなされている。学校自己評価システムを有効に活用し、前年度の課題を次年度の目標・方策に具体的に生かせるように、更にPDCAサイクルを回していただきたい。
特記事項		